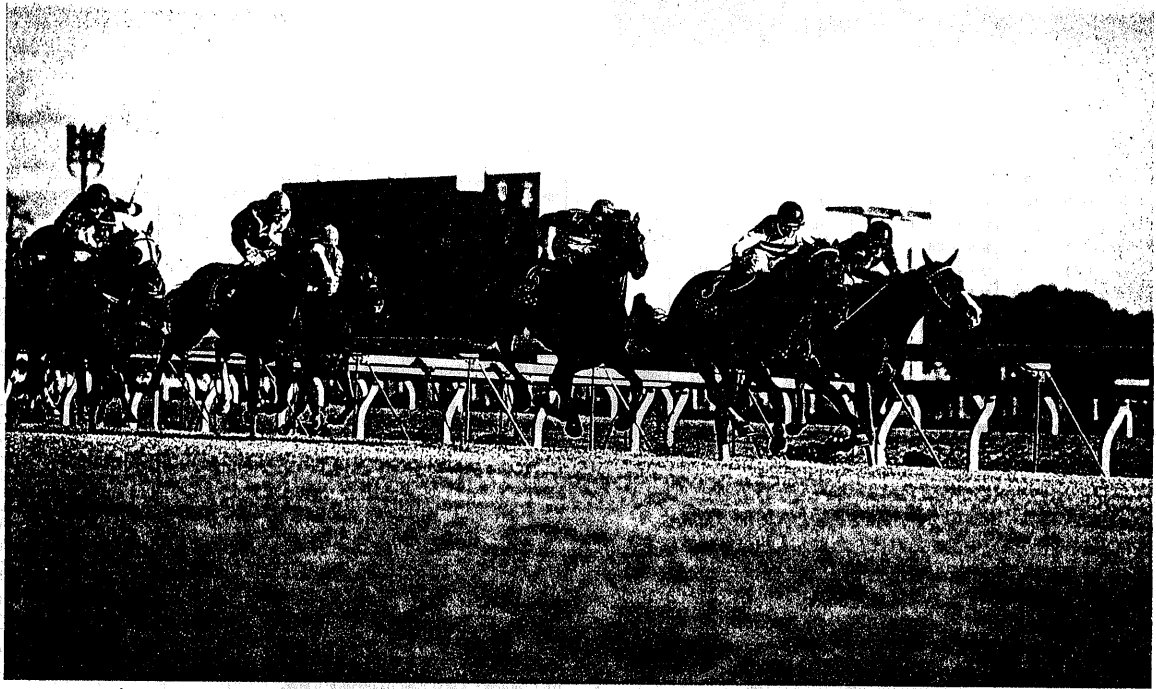


ntal Free Handicap

'94フリーハンデ決定



ジャパンカップ

Y.Kubo

ナリタブライアン63^キ ビワハヤヒデ62.5^キ

'94年より、国際化、地方との交流を念頭においた新フリーハンデを作成。

1962年(昭和37年)から、毎年「優駿誌」上で公表されてきたJRAのフリーハンデ(注1)は、その年度の実績上位馬を対象に格付けを行い、その力量を重量で表すことで、その年のみならず、歴年の名馬たちの実力比較をも行ってきたものである(表1)。

ヨーロッパでは、1971年にバタワン競走(注2)の整備がなされて以降、競馬そのものが多国間に拡大されるにつれ、それまで各国が独自に行っていた競走馬の格付けを、共通の土俵で作成する必要が生じ、1977年、英・愛・仏3国での出走馬を対象としたインターナショナルクラシフィケーション(注3)が作成・発表された。その後、1985年にはこれに西独・伊が加わって現在に至っている。

北米では1973年に主要競走のグレード制が採用され、競走馬の実績を測る上での目安となっているが、フリーハンデについては、古くからテイラーレーシングフォーム社が行ってきた(3歳馬については、イクスベリメンタルフリーハンデと称し、米国ジョッキークラブ公認のハンデキヤッパーの合議で決定されている)。

欧州のインターナショナルクラシフィケーションは、当初トップホースをレイティング(注4)100とし、これに重量を連動させる方法が採られていたが、(100±69^キ)、特にアメリカのブリーダーズカップ創設以降、ヨーロッパからアメリカに遠征する馬が増えたため、アメリカの馬との比較の必要が生じ、1986年からはアメリカ

のフリーハンデと共通の数値を得るため、トップホースをレイティング140±140ポンド(63・5^キ)とする基準に改められた。今日、ブリーダーズカップが欧米のチャンピオンホースの目指す最高峰のレースとなり、アメリカで走るヨーロッパの調教馬の数も年に100頭を優に超え、またその逆のケースも多く見られるといった、当時よりさらに両者間の交流が進んでいる。そこで、目下、インターナショナルクラシフィケーションに北米も加えた欧米統一格付けを行う準備が進められており、1994年度から北米の115(52^キ)以上の評価馬が公式に発表される予定である。

わが国も、1992年に国際GIとなったジャパンカップをはじめ、安田記念、京王杯スプリングカップ、スプリングステークスに続き、'95年からの産経賞オールカマーなど、今後さらに国際競走を増やし、外国馬に門戸を開いていくことは既定の方針であり、諸外国との交流がますます盛んになっていくことは、必至の情勢である。したがって、今後は外国馬も念頭においたフリーハンデの作成が急務といえる。

現在、欧州で発表されているインターナショナルクラシフィケーションは、その年の優れた活躍馬を距離別(5段階)に位置づけしたもので、評価の単位は、ポンド(キログラム併記)による能力指数、あるいは格付け指数といった性格のものである。これは、前述のごとく各国間での意見調整を必要とするところから、あくまで客観的なデータを基にしており、したがって主要競走(GI)の着順・着差がレイティングに大きく反映されてくる。一方、わが国では従来からハンデキャップレースを想定した作成方法によるもので、それには競走成績はもちろんであるが、年齢によるアラウアンズ(注5)、またレース内容も加味したものである。このように、欧州のクラシフィケーションとわが国のフリーハンデとの間には、作成方法に多少の相違はある

The 1994 Experim

表II 国際競走に出走した外国馬と日本馬の距離別レイティング

| レイティング | キロ | 馬名(生産国) | 性別 | 調教国 | S M I L E | | | | |
|--------|------|----------------|----|--------|-----------|-------|--------|---------|-------|
| | | | | | スプリターズ | | 京王杯SC | | ジャパンC |
| | | | | | 51-61 | 71-91 | 91-101 | 111-131 | 141+ |
| 127 | 57.5 | バラダイスリーク(USA) | 牡6 | USA | | | 127 | 124 | |
| 125 | 56.5 | エルナンド(FR) | 牡5 | FR | | | | 125 | |
| | | マーベラスクラウン(JPN) | 騾5 | JPN | | | | 125 | |
| | | サクランボクシオン(JPN) | 牡6 | JPN | 125 | 116 | | | |
| 124 | 56.0 | アップルソリー(FR) | 牡6 | FR | | | | 124 | |
| 122 | 55.5 | ロイスアンドロイス(JPN) | 牡5 | JPN | | | | 122 | |
| 121 | 55.0 | スキーパラダイス(USA) | 牝5 | FR | | | 121 | | |
| 120 | 54.5 | ドルフィンストリート(FR) | 牡5 | FR | 120 | 116 | | | |
| | | サイエダティ(GB) | 牝5 | GB | | | 120 | | |
| 119 | 54.0 | ジューン(GB) | 牡6 | AUS | | | | 119 | |
| | | グラントフロチラ(USA) | 牡8 | USA | | | | 119 | |
| | | ノースフライト(JPN) | 牝5 | JPN | | | 119 | | |
| 118 | 53.5 | サンデビツ(BRZ) | 牡6 | USA | | | | 118 | |
| | | ソビエトプロブレム(USA) | 牝5 | USA | 118(牡) | | | | |
| | | ヨハンクアッツ(FR) | 牡6 | USA | | | 118 | | |
| | | レイントラップ(GB) | 牡5 | USA | | | | 118 | |
| 117 | 53.0 | ラフハビット(NZ) | 騾5 | NZ | | | | 117 | |
| | | ナイスネイチャ(JPN) | 牡7 | JPN | | | | 117 | |
| | | フレイズ(USA) | 牡7 | USA | | | | 117 | |
| 116 | 52.5 | フジヤマケンザン(JPN) | 牡7 | JPN | | | | 116 | |
| 114 | 51.5 | ザイテン(USA) | 牡5 | UAE/GB | | | 114 | | |
| | | オナーザヒーロー(USA) | 騾7 | USA | 114(牡) | | | | |
| | | ビコーベガサス(USA) | 牡4 | JPN | | | 114 | | |
| | | キョウエイキーマン(JPN) | 牡6 | JPN | 114 | | | | |
| | | エイシンフシントン(USA) | 牡4 | JPN | 113 | | | | |
| 113 | 51.0 | イナズマタカオー(JPN) | 牡4 | JPN | 110 | | | | |
| 110 | 50.0 | ホトベガ(JPN) | 牡5 | JPN | | 110 | | | |

(注1) 日本、オーストラリア、ニュージーランドの馬はJRA国際レースでの評価。
 (注2) 欧米馬は日本以外のレース(含ダート)も加味した評価。
 (注3) USA=アメリカ、FR=フランス、GB=イギリス、BRZ=ブラジル、NZ=ニュージーランド、UAE=アラブ首長国連邦
 (注4) I=ハロン(11≒200メートル)

表I 歴代フリーハンデ・部門別トップホース

| 年度 | 4歳 | 4歳牝馬 | 5歳以上 | 短距離・4歳以上(1600m以下) | |
|------|---------------------|------------------------------|---------------------|---------------------|---|
| | | | | 3歳 | 3歳 |
| 1983 | 65 ミスターシービー | 59 ※ダイナカール ※ロンググレイス | 63 アンバーシャダイ | | 55 サクラトウゴウ ハーディービジョン |
| 1984 | 67 シンボルドルフ | 58 ※キノノベガサス ※ダイアナソロン | 66 カツラギエース | | 55 スクラムダイナ |
| 1985 | 64 ミホシンザン | 58 ※アサクサスケール ※エルプス ※リワードウイング | 70 シンボルドルフ | 66 ニホンピロウイナー | 55 ダイシンフキ ※ダイナアクロス |
| 1986 | 64 ダイナガリバー | 62 ※メジロラモース | 63 サクラユタカオー | 63 ギャロップダイナ | 54 ゴールドシチー サクラロータリー ダイナサンキュー ホットヘリオス メリーナイス |
| 1987 | 64 サクラスターオー | 61 ※マックスビユー | 63 ニッポータイオー ミホシンザン | 64 ニッポータイオー | 56 サッカーボーイ |
| 1988 | 65 オグリキャップ | 59 ※コスモドリーム | 68 タマモクロス | 63 サッカーボーイ ニッポータイオー | 56 サクラホトオー |
| 1989 | 62 ウォースサークル バンブービギン | 59 ※シャダイカグラ | 65 イナリワン オグリキャップ | 65 オグリキャップ | 55 アイネスフジヤマニシローバル |
| 1990 | 63 アイネスフジヤマ | 58 ※アグネスフローラ | 63 オグリキャップ スーパーグレイク | 65 オグリキャップ | 56 リンデシェンバー |
| 1991 | 65 トウカイテイオー | 59 ※シスターワシウフ | 63 メジロマックイン | 63 ※ダイイチルビー | 56 ※ニシノフラワー ミホノブルボン |
| 1992 | 65 ミホノブルボン | 60 ※ニシノフラワー | 65 トウカイテイオー | 62 ダイタクヘリオス | 55 エルウェーウィン ピフハヤヒデ |
| 1993 | 64 ピフハヤヒデ | 60 ※ベガ | 65 トウカイテイオー | 63 ヤマニシゼンファー | 55 ナリタブライアン ヤマニシアビリティ |

(注1) 短距離・4歳以上部門は1985年から新設。
 (注2) 1962-1982年は省略。
 (注3) ※印は牝馬。

表III ジャパンカップ・レイティング(過去5年)

| 年 | 歳順 | 馬名(生産国) | 性別 | 調教国 | レイティング | キロ | レイティング平均値 | キロ |
|------|----|----------------|----|-----|--------|------|-----------|------|
| 1990 | 1 | ベターズアップ(USA) | 騾6 | AUS | 123 | 55.5 | 121.0 | 55.0 |
| | 2 | オード(USA) | 牝5 | FR | 119 | 55.0 | | |
| | 3 | カコイシーズ(USA) | 牡5 | GB | 122 | 55.5 | | |
| | 4 | ホワイトストーン(JPN) | 牡4 | JPN | 120 | 54.5 | | |
| 1991 | 1 | ゴールデンスパーク(USA) | 牡6 | USA | 125 | 56.5 | 120.5 | 54.5 |
| | 2 | マジックナイト(FR) | 牝4 | FR | 119 | 54.0 | | |
| | 3 | シヤブアグエー(AUS) | 騾6 | AUS | 120 | 54.5 | | |
| | 4 | メジロマックイン(JPN) | 牡5 | JPN | 118 | 53.5 | | |
| 1992 | 1 | トウカイテイオー(JPN) | 牡5 | JPN | 126 | 57.0 | 123.5 | 56.0 |
| | 2 | ナチュラリズム(NZ) | 牡5 | AUS | 125 | 56.5 | | |
| | 3 | ティアクタール(FR) | 牡6 | FR | 124 | 56.0 | | |
| | 4 | レガシーワールド(JPN) | 騾4 | JPN | 119 | 54.0 | | |
| 1993 | 1 | レガシーワールド(JPN) | 騾5 | JPN | 126 | 57.0 | 124.5 | 56.5 |
| | 2 | ユクシャーン(FR) | 牡6 | USA | 124 | 56.0 | | |
| | 3 | ウイニングチケット(JPN) | 牡4 | JPN | 124 | 56.0 | | |
| | 4 | ブラティニ(GER) | 牡5 | GER | 124 | 56.0 | | |
| 1994 | 1 | マーベラスクラウン(JPN) | 騾5 | JPN | 125 | 56.5 | 122.8 | 55.5 |
| | 2 | バラダイスリーク(USA) | 牡6 | USA | 124 | 56.0 | | |
| | 3 | ロイスアンドロイス(JPN) | 牡5 | JPN | 122 | 55.5 | | |
| | 4 | エルナンド(FR) | 牡5 | FR | 120 | 54.5 | | |

※欧州では、パターン競走の格付けは、その競走の3年間に於ける年間格付け(指数)の平均値を参考に決められる。この平均値は、上位4頭までの入着馬のハンデキャップ格付け(指数)によって算出され、レースがパターン競走として認定を受けるためには、この平均値がG1-115、G2-110、G3-105以上の基準を満たしていることが条件となる。この表は、国際ハンデキャップ委員会によって作成されたJCの評価であり、G1としての基準を充分クリアーしている。さらに国際G1に認定された第12回(1992)からは、平均値(出走馬のレベル)も上昇してきていることがご理解いただけると思う。

が、将来、インターナショナルクラシフィケーションへの対応を可能とするため、その第一歩として本年度から後記の通り基準を整備し、見直しを図った。なお、昨年末にドイツで開催された国際ハンデキャップ委員会においてJRAの国際競走に参加した外国馬と日本馬のレース毎のレイティングを行ったので、参考までにご覧いただきたい(表II)。今後、日本の競馬が国際レベルでの地位を確立するためにはJRAで施行される国際競走で、外国馬の参戦を待つだけでなく、日本馬が積極的に海外遠征をし、かつ、好成績をあげるこ

また、国内的には地方との交流促進策が採られ、特にダート競走については、中央・地方を併せた全日本的な競走体系の確立が推し進められる方向も決定していることから、本年よりダート部門を新設し、地方在厩馬も含めて相應の評価を行うこととした。

1994(平成6)年度以降のフリーハンデ作成にあたっては、以下により行う。

(I) 対象馬 おおむねG I 5着、G II 3着、G III 2着まで、およびオープン競走1着の馬で50以上の評価馬。ただし、3歳馬については前記の基準にかかわらずリストアップする馬もある。

(中央競馬指定交流競走に出走した地方競馬所属馬を含む)

(2) 年齢区分 3歳・4歳・5歳以上の3区分(ダート部門は4歳以上)とする。

(3) 距離区分 短距離(1600m以下)・中距離(1600m超〜2200m)・長距離(2200m超)の3区分とする。3歳・ダートについては、距離区分はしない。

(注) フリーハンデ その年度の競走馬を重量によって格付けするもの。これは、その年度の各馬の実力比較だけでなく、歴代の各馬の実力比較をも含む。

2 ヨーロッパ各国内で認められた格付けをもった重賞競走。格付けG I、IIは日本と同様だが、グループI、II、IIIと呼ぶ。

3 インターナショナルクラシフィケーション国際間で取り決めた格付けレイティング。

4 評価、格付けの意味で、欧米諸国で使われ、日本のフリーハンデと同義語。

5 アラウアンズ 許可の意味だが、競馬では、年齢、性別に応じて許される重量のことをいう。有馬記念では5歳(牡騾)57kgに対して4歳2歳、6歳以上1歳、牝馬2歳のアラウアンズがある。

4歳以上は距離を3区分に分けて評価

94年はジャパンC、安田記念、スプリングスと、わが国におけるG1の国際競走を日本馬が全て制し、国内の土儀であれば、世界のG1クラス相手でも日本馬が十分勝負に勝つことを証明した年であった。今や、日本馬が強くなっていることは誰しもが認めることであろう。

この日本馬の成績の向上は、走破タイムが速くなっていることから指摘されることが多いが、何よりもジャパンC創設当初に比べ、外国からの出走馬のレベルが格段に高くなっていることが歴然としている中で、日本馬がこの3年連続でジャパンCを制している事実がそれを証明している（前ページ表III参照）。また、レース内容をもても、タマモクロス、オグリキャップらがあと一歩で勝ちを逃したのに対し、トウカイテイオー、マーベラスクラウンらは、外国馬相手に競り勝つてのもので、決して恵まれた勝利といったものではない。

日本馬が強くなった要因としては、まず坂路に代表される調教施設の多様化による調教技術の進歩、さらにはトレーニングセンターに入る前の施設を含めた育成技術の向上が挙げられよう。また、血統面でのレベルアップも大きな要因と言え、特に種牡馬に関しては

今わが国は世界のトップクラスの馬を揃えており、欧米と遜色のないものとなっている。このように、強くなっている日本馬に今後求められるのは、先に述べられているとおり海外の競馬での実績以外にない。

94年からフリーハンデの作成基準が変更されたのは前述のとおりである。これまでは一年の総合評価ということでタイムの獲得数に重きが置かれ、それによって1*、2*と付けられていた重量差を、より現実的なものに変え、さらに負担重量の表示単位に0・5*を採用することで、欧米のそれに近い数値が得られることを意図したものである。

また従来、4歳馬は古馬とは別のフリーハンデ部門として独立していたが、夏以降は番

組上も4歳以上の混合戦が基本であり、秋以降の古馬との混合のビッグレースに参戦する4歳馬も過去に比べ多くなっていることから、本年からは古馬と同一の尺度をもって（古馬との比較を考慮したもので）評価することとした。

さて、以上のことを踏まえてフリーハンデの討議に入ることとなった。例年は、4歳、5歳以上、短距離の順で進行したが、前述のとおり4歳以上馬について、距離を3区分に分けて評価することとしたため、どの距離にもまんべんなく対象馬がいる5歳以上馬を先に協議してフリーハンデを決定し、それを基準として4歳馬のフリーハンデを決めることになった。

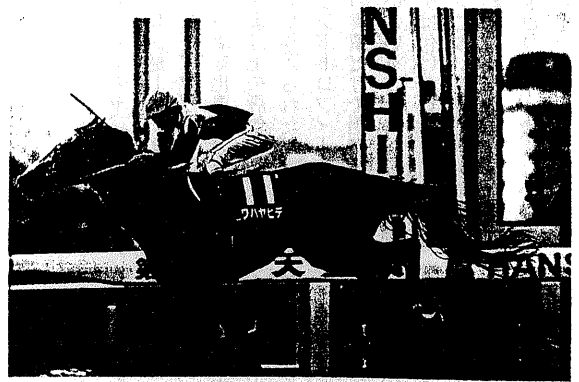
5歳以上

ビワハヤヒデは昨年のメジロマツクイーン級、ノースフライトは短距離部門の歴代最強牝馬の評価。

94年の古馬戦線の主役はビワハヤヒデだった。秋の天皇賞は不本意な結果に終わったものの、春はビワハヤヒデ一頭が抜けていたことは誰もが認めることだろう。レースの格から評価すればジャパンCの勝ち馬が上位となるのだが、94年はビワハヤヒデをトップにす

ることでハンデキャッパーの見解は一致した。最初に58*を与える馬を決め、この馬を基準にしてビワハヤヒデは何*上積みできるかということ、話が進められた。

58*という評価はGIIを勝てる馬となる。狙に乗せられたのはナイスネイチャ、マチ



天皇賞・春 Y.Kubo

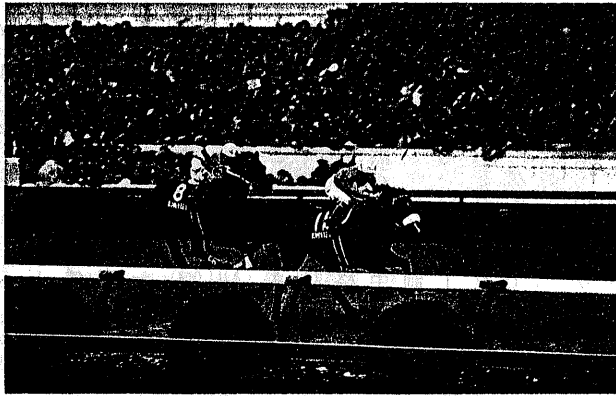
| '94年フリーハンデ | | | | | |
|------------|-----------------|----|-------|----------------|-------|
| 5歳以上 | | | | | |
| キ口 | 馬名 | 性別 | 短距離 | 中距離 | 長距離 |
| | | | ~1600 | 1600超 ~2200 | 2200超 |
| 62.5 | ビワハヤヒデ | 牡5 | | 62.5 | 62.5 |
| 61.5 | ⑩サクラバクシンオー | 牡6 | 61.5 | | |
| | マーベラスクラウン | 騾5 | | 60.5 | 61.5 |
| 61.0 | ⑩ネーハイシーザー | 牡5 | | 61.0 | |
| 60.5 | ナリタタイシン | 牡5 | | | 60.5 |
| 60.0 | ノースフライト | 牝5 | 60.0 | | |
| 59.5 | ライスシャワー | 牡6 | | | 59.5 |
| 59.0 | ⑩メジロバマー | 牡8 | | | 59.0 |
| | ロイスアンドロイス | 牡5 | | 58.0 | 59.0 |
| 58.5 | ウイニングチケット | 牡5 | | 58.5 | |
| | ⑩セキテイリュウオー | 牡6 | 58.0 | 58.5 | |
| | ムツシュシユクル | 牡7 | | | 58.5 |
| 58.0 | サクラチセオー | 牡5 | 58.0 | 58.0 | |
| | ナイスネイチャ | 牡7 | | 58.0 | 57.5 |
| | マチカネタンホイザ | 牡6 | | 57.5 | 58.0 |
| 57.5 | ⑩アイルトンシンボリ | 牡6 | | 56.0 | 57.5 |
| 56.5 | ⑩フジヤマケンザン | 牡7 | | 56.5 | |
| 56.0 | ステージチャンプ | 牡5 | | 55.0 | 56.0 |
| 55.5 | スターハリーナ | 牝5 | | 55.5 | |
| 55.0 | ケントニーオー | 牡5 | 55.0 | 55.0 | |
| | ゴールドマウンテン | 牡6 | | 55.0 | |
| | センゴクシルバー | 牡6 | | 54.0 | 55.0 |
| | ⑩ニホンピロプリンス | 牡6 | 55.0 | | |
| 54.5 | ユウキトップラン | 牡7 | 54.5 | | |
| | ワコーチカコ | 牝5 | | 54.5 | |
| 54.0 | ⑩イブキファイブワン | 牡7 | | 54.0 | |
| | ⑩ダンシングサーバス(IRE) | 牡5 | 54.0 | 54.0 | 54.0 |
| | ホクトベガ | 牝5 | | 54.0 | |
| | マイスーパーマン | 牡9 | 54.0 | | |
| 53.5 | キョウエイキーマン | 牡6 | 53.5 | 52.0 | |
| | ホッカイセレス | 牝5 | 53.5 | | |
| 53.0 | ⑩エルウェーウィン(IRE) | 牡5 | | 53.0 | |
| | ⑩ゴールデンアワー | 牡8 | | 53.0 | |
| | ⑩トミノボルンガ | 牡6 | | 53.0 | |

カネタンホイザ、アイルトンシンボリ、ムツシュシユクルの4頭。討議の結果、アイルトンシンボリはGIIを勝ちきれないということ、57・5*、ムツシュシユクルは春の実績を考慮して58・5*に決定し、ナイスネイチャとマチカネタンホイザに58*が与えられた。ただし、ナイスネイチャは中距離58*、長距離57・5*、マチカネタンホイザはその逆と、より距離適性を考慮して評価を行った。

ビワハヤヒデはこの2頭は春の天皇賞、宝塚記念で対戦している。その結果から、ビワハヤヒデは62・5*に決定。

ジャパンCの勝ち馬マーベラスクラウンはビワハヤヒデより1*下の61・5*となった。サクラバクシンオーはスプリングス戦での強さを評価して61・5*。安田記念、マイルチャンピオンシップを連覇したノースフライトは60*。セックスアラウアンズ（牝馬は牡馬より2*減量される）があるので実際はノースフライトの方がサクラバクシンオーより0・5*上の評価となる。また、ダイイチル

The 1994 Experimental Free Handicap



有馬記念

F.Nakao

94年は4歳に限らず古馬も含めて三冠を達成したナリタブライアンが主役だった。三冠馬が出た年は他の4歳馬のレベルが低いなどと言われるが、今年に限れば当てはまらない。ナリタブライアンに次ぐ第二グループのスターマンが鳴尾記念、エアダブリンがステイヤーズで古馬を破っているからだ。そればかりでなく12月に入って4歳馬はスプリンターズS以外の古馬混合レースを全て優勝。通算すると4歳馬は古馬混合のレースに11勝している。これはミスターシービー世代の7勝、シンボリドルフ世代の5勝より多い。トウショウボーイ、テンポイントが4歳時、有馬記念で、2着した昭和51年世代に並ぶ。94年の4歳馬は一握りのトップクラスの馬だけでなく、全体のレベルが高かったといえる。

その中で三冠を勝ったナリタブライアンはシンボリドルフと甲乙つけがたい評価であるが、三冠レースで2着馬につけたトータルの着差やダービーの圧勝ぶりから、内容的には上ではないかという意見もあった。惜しむらくはジャパnCに出走しなかったことだ。また、牝馬のヒシアマゾンも歴代の4歳牝馬より高い評価をしたいということで見解は一致した。有馬記念はナリタブライアンから3馬身差の2着。G1でナリタブライアンに最も迫った馬なのである。今後、4歳牝馬はヒシアマゾンと比べてどうかの評価のポイントになってくるだろう。

ナリタブライアンにはビワハヤヒデを上回る63*が与えられた。強い世代の三冠馬であること、有馬記念でフリーハンデ58*のナイスネイチャ、57・5*のアイルトンシンボリに完勝していることが決め手となった。ヒシアマゾンは有馬記念2着の成績からいわれる牝馬三冠を全て勝ったメジロロマーヌより上の評価をして中距離、長距離とも57*が与えられた。クリスタルC、ニュージラントトロフィー4歳Sを勝っているが、春の実績だけで距離の区別にこだわる必要がないということになり、短距離でのフリーハンデは付けられないこととなった。特にヒシアマゾンについては外国産であるためオークスを使えず、目標とするレースがニュージラントトロフィー4歳Sしかなかったということである。

その他の馬については別表を参照していただきたい。

4歳

全体のレベルも高く、ヒシアマゾンは歴代最強の4歳牝馬という評価で一致。

強、というの一致した見解だった。その他の馬については別表を参照していただきたい。

なお、インターナショナルクラシフィケーションによるスプリンターズS(5ハポ16ポ)、区分、京王杯スプリングC、安田記念(7ハポ19ハポ)区分、ジャパnC(11ハポ13ハポ)区分に出走した外国馬と日本馬のレイティング(表II)をご覧いただくと、マーベラスクラウンには125ポンド(56・5*)が与えられている。ジャパnC2着のバラダイスクリークにマーベラスクラウンより上の127ポンド(57・5*)を与えられたのに疑問を持たない。

| '94年フリーハンデ | | | | | | |
|------------|----------------|-----------------|-------|----------------|-------|------|
| 5歳以上 | | | | | | |
| キロ | 馬名 | 性別 | 短距離 | 中距離 | 長距離 | |
| | | | ~1600 | 1600超 ~2200 | 2200超 | |
| 52.5 | ニフティダンサー | 牡7 | | 53.0 | | |
| | ⑧ヒダカハヤト | 牡8 | | 53.0 | | |
| | ⑩インターマイウェイ | 牡5 | 52.5 | 52.5 | | |
| | ⑪エイシントネシー(USA) | 牝6 | | 52.5 | | |
| | ⑫タマモハイウェイ | 牡5 | | 52.5 | | |
| | ⑬トーワダーリン | 牝5 | 52.5 | | | |
| | ⑭フジワマンクロス | 牡5 | 52.5 | 52.5 | | |
| | 52.0 | ⑮アンダーキング | 牡5 | | 52.0 | |
| | | エアリアル | 騾5 | 52.0 | | |
| | | ⑯システーナ | 牝6 | 52.0 | | |
| 51.5 | ステイジヒーロー | 牡9 | | 52.0 | | |
| | ダイナミックバード | 牡5 | | 52.0 | | |
| | テイテムハリケーン | 牡5 | | 52.0 | | |
| | ナカミアンデス | 騾5 | | 52.0 | | |
| | ハギリアルキング | 牡5 | | | 52.0 | |
| | 52.0 | ⑰バリアントウイナー | 牡5 | 52.0 | | |
| | | ワイドバル | 騾8 | | 52.0 | |
| | | インターシュプール | 騾6 | | 51.5 | |
| | | ⑱シャコウグレイド | 牡7 | | | 51.5 |
| | | シュアリーウイン | 牡5 | | | 51.5 |
| 51.0 | ⑲バワフルボーイ | 牡7 | | 51.5 | | |
| | 51.0 | ⑳アービーグランプリ(USA) | 牡5 | | 51.0 | |
| | | ドージマムテキ | 牡5 | 51.0 | | |
| | | マイヨジョンヌ | 牡5 | | 51.0 | |
| | | ㉑ヤマニンフォックス | 牡7 | | 51.0 | |
| | | ルーブルアクト | 牡7 | | | 51.0 |
| | 50.5 | ㉒キョウエイボナンザ | 騾7 | 50.5 | | |
| | | ビューティーメイク | 牝6 | | | 50.5 |
| | | メジロカムリ | 牝6 | 50.5 | | |
| | 50.0 | ㉓シマノヤマヒメ | 牝6 | | 50.0 | |
| | | ニホンピロナーリー | 牡6 | | 50.0 | |
| | | ㉔ニューズヴァリュウ(USA) | 牝6 | 50.0 | | |
| | | ピョーアルファー | 牡5 | 50.0 | | |
| | | ユキミザケ | 牝5 | 50.0 | | |
| | | (以上68頭) | | | | |

つファンもいると思う。これは日本、オーストラリア、ニュージラントの馬については日本の国際レースだけで評価したのに対し、欧米の馬は日本以外でのレース(ターゲットも含む)も加味して評価した結果である。

サクラバクシンオーとノースフライトが6ポンド(3・0*)差があるのも、対象となったレースが安田記念とスプリンターズSで、国際レースとして開放されていないマイルチャンピオンシップの結果は、考慮されていない。

ビワハヤヒデは国際レースに出走していないので対象外となるが、あえて国際的な評価をするならばマーベラスクラウンとの比較から、バラダイスクリークと同じ127ポンドになる。

Free Handicap

| '94年フリーハンデ | | |
|------------|---------------|----|
| ダート | | |
| キ口 | 馬名 | 性齢 |
| 57.0 | ⑩チアズアトム | 牡6 |
| 56.5 | ⑩バンブーゲネシス | 牡6 |
| 56.0 | ⑩カリフソング | 牡9 |
| | フジノマッケンオー | 牡4 |
| 55.5 | ⑩スタビライザー | 牡7 |
| | トヨリファール | 牡5 |
| | ⑩マキノウショウ | 牡5 |
| 55.0 | ⑩オーディン | 牡6 |
| | ⑩トミノホルンガ | 牡6 |
| | ⑩プロストライン(USA) | 牡6 |
| 54.5 | エイシンライジン | 騾6 |
| | ライブリマウント | 牡4 |
| 54.0 | ミスタートウジン | 牡9 |
| 53.0 | ⑩ダイカクシヨウ | 牝7 |
| | ⑩マルタカトウコウ | 牡5 |
| 52.5 | ヤグライーガー | 牡5 |
| 52.0 | イブキクラッシュ | 牡5 |
| 51.0 | マキバスクリーン | 牝7 |
| 50.5 | ⑩フォスターホープ | 牡4 |
| 50.0 | イデタイショウ | 牡5 |
| | ビッグファイト | 牡7 |
| | (以上21頭) | |

〈ハンデキャッパー〉

- 本部
甲佐勇
- 栗東トレーニング・センター
古橋明、西田研、山田隆雄、尾関道春
- 美浦トレーニング・センター
今泉俊彰、小林善一郎、井上真、中村嘉宏



フェブラリーS

H. Watanabe

ダート

今回はあくまで試験的評価だが、
トップハンデはGIIに勝ったチアズアトム。

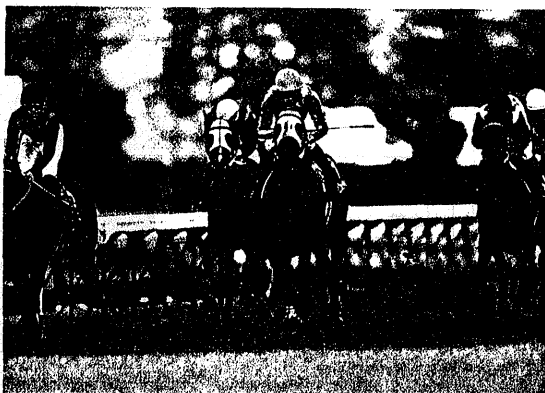
94年からダート部門を新設するのは先に述べたとおりである。
現在、JRAの平地競走の約50%がダートで行われ、94年はフェブラリーHがGIIに格上げされフェブラリースに、平安S(地方交流競走)とマーチSが新設され番組上もダートの重賞競走にも見直しが計られた。近々には帝王賞(大井)、ブリーダーズ・ゴールドC(北海道)など地方競馬における全国レベルの交流競走も含めた、全日本的な競走体系が確立される見込みで、今後ダート競走の重要度が増してくるのは確実である。これまではダートの活躍馬でも芝の能力に置き換えていたため、全体的に低い評価となっていた。そういう不自然さを是正するためにもダート部門が新たに設けられたのである。対象馬については前述のとおり基準である。地方競馬に出走した中央馬に関しては帝王賞、ブリーダーズ・ゴールドCでの成績も加味した。
なお、今回のダート部門の評価はあくまで

| '94年フリーハンデ | | | | | |
|------------|-----------------|---|--------------|-----------------------|--------------|
| 4歳 | | | | | |
| キ口 | 馬名 | 性 | 短距離 ~1600 | 中距離 1600超 ~2200 | 長距離 2200超 |
| 63.0 | ナリタブライアン | 牡 | | 63.0 | 63.0 |
| 57.0 | エアダブリン | 牡 | | 56.0 | 57.0 |
| | スターマン | 牡 | | 57.0 | 56.5 |
| | ⑩ヒシアマゾン(USA) | 牝 | | 57.0 | 57.0 |
| 56.0 | ナムラコクオー | 牡 | | 56.0 | |
| | フジノマッケンオー | 牡 | 56.0 | 55.0 | |
| | ヤシマソブリン | 牡 | | 56.0 | 56.0 |
| 55.5 | ⑩ピコーベガス(USA) | 牡 | 55.5 | | |
| 55.0 | ⑩エイシンフシントン(USA) | 牡 | 55.0 | | |
| | ノーザンボラリス | 牡 | | | 55.0 |
| | ⑩マチカネアレグロ(USA) | 牡 | | | 55.0 |
| 54.5 | ⑩ウインドフィールズ | 牡 | | 54.5 | 54.5 |
| | チョウカイキャロル | 牝 | | 54.5 | 54.5 |
| 54.0 | ⑩サクラスーパーオー | 牡 | | 54.0 | |
| 53.5 | ⑩アグネスノレード | 牝 | | 53.5 | 53.5 |
| | ⑩サクラエイコウオー | 牡 | | 53.5 | |
| | メモリージャスパー | 牝 | | 53.5 | 53.0 |
| 53.0 | ⑩メルシーステージ | 牡 | | 53.0 | |
| 52.5 | ゴールデンジャック | 牝 | | 52.5 | 52.0 |
| | ⑩タイキブリザード(USA) | 牡 | | 52.5 | |
| 52.0 | イナズマタカオー | 牡 | 52.0 | 52.0 | |
| | ⑩オグリローマン | 牝 | 52.0 | | |
| | ⑩ヒシクレバー(USA) | 牡 | 52.0 | | |
| 51.5 | アイネスサウザー | 牡 | | 51.5 | |
| | オフサイドトラップ | 牡 | | 51.5 | |
| | ⑩ソルマルガール | 牝 | | 51.5 | |
| | ⑩フィールドボンバー(USA) | 牡 | 51.5 | | |
| | ローブモント | 牝 | 51.5 | | |
| 51.0 | ⑩タイキウルフ(USA) | 牡 | 51.0 | | |
| | ツインクルプライド | 牝 | 51.0 | | |
| | ⑩デンザンユタカ | 牝 | | 51.0 | |
| | ⑩マルカオーカン | 牡 | | 51.0 | |
| 50.5 | ⑩ラグビーカイザー | 牡 | | 50.5 | |
| 50.0 | ⑩エアチャリオット | 牡 | | 50.0 | |
| | ⑩マイネマジック | 牝 | | | 50.0 |
| | (以上35頭) | | | | |

参考までに94年のインターナショナルクラシフィケーションでは英オークス、愛ターピを勝ったバラランシオンが古馬を含めてトップだった。レイティングは130ポンド(59*)。4歳牝馬がトップとなったのはインターナショナルクラシフィケーションが作成されるようになった1977年以降2頭目のことである。
北米はウッドワードSなどGI5勝をあげたホーリーブルが同じく130ポンドでトップ。ナリタブライアンをクラシフィケーションの格付けに置き換えると128ポンド(58*)に相当する。世界的に4歳馬の活躍が目立った年だった。また、JRAのフリーハンデで牡馬60*、牝馬57*以上の評価をされた馬は外国でも通用するということがある。トップクラスの馬は海外のレースにもチャレンジしてもらいたい。

も試験的なもので今後の競走体系の確立を待つて本格的なものとした。
トップハンデは格上であるGIIフェブラリースを勝ったチアズアトムとすることで見解は一致。フェブラリースでの負担重量がそのまま採用され57*が与えられた。
バンブーゲネシスが1年を通じて好成績を残したことで、2番手となり56・5*。ブリーダーズ・ゴールドCの勝ち馬カリブソング56、帝王賞の勝ち馬スタビライザーが55・5で続いた。
4歳馬は夏以降しか対象とするレースが無いため評価が難しい。しかし、フジノマッケンオーは、根岸Sで古馬を問題にせず、ダートでも芝の短距離と同等の能力があるということで56*が与えられた。
その他の馬については別表を参照していただきたい。

The 1994 Experimental



阪神3歳牝馬S

K. Yamamoto

3歳

従来の東西別を一本化。
牝馬のヤマニンパラダイスに高い評価。

94年の特徴は外国産馬と新種牡馬サンデーサイレンス産駒の活躍だ。外国産馬については数年前からの傾向だが、とにかく驚かされたのはサンデーサイレンスである。その産駒は30勝し、総取得賞金は2位のノーザンステートに3億円以上の差をつける約4億9000万円である。92年のリアルンシャダイ(22勝約2億4000万円)、93年のキングダローリアス(12勝、約1億5000万円)を大きく上回った。中央競馬始まって以来の歴史的な記録といえるだろう。

フリーハンデも94年の傾向が如実に表れている。牡馬のトップはサンデーサイレンス産駒のフジキセキで55⁺。これに外国産馬のスキーキャプテン54・5⁺、同じくゴーゴリーカヤマ54⁺、サンデーサイレンス産駒タヤストヨシ53⁺と続く。

一方、牝馬もトップは外国産馬のヤマニンパラダイスで55⁺。2位にサンデーサイレンス産駒のプライムステージとなった。

ヤマニンパラダイスの55⁺という評価はセックスアラウアンスを考慮するとフジキセキ

より上となる。また、'91年のニシノフラワールの56⁺よりも高い評価であることが一致した見解であった。

外国産馬やサンデーサイレンス産駒に押されて劣勢だったのは父内国産馬である。サクラユタカオー産駒のスターライトマリーが気を吐いたに過ぎなかった。

その他の馬については別表を参照していただきたい。なお、3歳戦においても東西交流が盛んになってきており、従来の東西別を一本化した。

| '94年フリーハンデ | | |
|------------|-----------------|---|
| 3歳 | | |
| キロ | 馬名 | 性 |
| 55.0 | フジキセキ | 牡 |
| | ②ヤマニンパラダイス(USA) | 牝 |
| 54.5 | ②スキーキャプテン(USA) | 牡 |
| 54.0 | ②ゴーゴリーカヤマ(USA) | 牡 |
| 53.5 | ②スターライトマリー | 牝 |
| | プライムステージ | 牝 |
| 53.0 | タヤストヨシ | 牝 |
| 52.5 | ②エイシンバーリン(USA) | 牝 |
| | ②コクトジュリアン(GB) | 牡 |
| | ②ダイタクテイオー | 牡 |
| | ②トウショウフェノマ | 牡 |
| 52.0 | オートマチック | 牡 |
| | ダンツダンサー | 牝 |
| | ナリタキングオー | 牡 |
| | マイティーフォース | 牡 |
| 51.5 | ②シンガージョン(USA) | 牡 |
| | ②タイキクレセント(IRE) | 牡 |
| | ノーザンアスリート | 牡 |
| | マキシムシャレード | 牝 |
| 51.0 | エイシンサンサン | 牝 |
| | ②エイシンプリンス | 牡 |
| | ②オグリワン | 牡 |
| | シスタータイクーン | 牝 |
| | タイガーチャンプ | 牝 |
| | ツキノロマン | 牝 |
| | ②ニホンピロスタディ | 牡 |
| | ②ヒシワールド(USA) | 牡 |
| 50.5 | ②ヴァンダーファルケ(USA) | 牡 |
| | エイブルカグラ | 牝 |
| | オトメノイノリ | 牝 |
| | コンフィデンス | 牝 |
| | ジェニユイン | 牝 |
| | ②タイキクリスタル(USA) | 牝 |
| | テイエムロケット | 牡 |
| | メイショウテソロ | 牡 |
| 50.0 | ②イージーマインド(USA) | 牝 |
| | ②エイユーギャル | 牝 |
| | サイレントハピネス | 牝 |
| | ②サツキムスメ(USA) | 牝 |
| | サンデーブランチ | 牡 |
| | ②ジェットグローリ | 牡 |
| | スピーディーキング | 牡 |
| | タニノリアーズ | 牡 |
| | ノースシアー | 牝 |
| | ピークアイエット | 牡 |
| | フライトサンディー | 牡 |
| | ②プログラム(IRE) | 牡 |
| | ヘイアンショウケン | 牡 |
| | ホッカイルソー | 牡 |
| | マイルルガーベ | 牡 |
| | マイルルブリッジ | 牡 |
| | ②ランドヴユウ | 牝 |
| | ワンダービアリス | 牝 |
| | (以上53頭) | |